

目標達成計画

作成日：令和 5年 9月 8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	45	入浴を希望する人には週2回に限らず、柔軟に入浴を実施する事を期待する。	入浴の好きな入居者の意志を尊重して、希望に添えるように入浴を実施する	職員の勤務体制、入居者の介護状況を鑑みて、入浴が対応できるタイミングを作る。	6ヶ月
2	26	身体拘束を実施しており車椅子ベルトを介護計画には入れて検討しているが、外す取り組みについても介護計画に掲げて取り組んでいく。	ケアプランに解除について検討していく事を明記し、職員が身体拘束解除に意識が向くようにする。	身体拘束解除に向けて入居者の状態の情報を共有しあい、解除への可能性を検討する。	1ヶ月
3	2	事業所の特色を活かした地域との関わり方について、運営推進会議の出席者である地域代表の方に意見をいただき、地域との関係を築いていく取り組みをしていく。	地域のボランティアの情報や、感染症の状況をみて、外部との接触、外出の機会の増やす	運営推進会議や他の事業所からの情報を得るようにして、地域との関わりを増やせるようにする	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。